

ノートルダム清心女子大学 2024 年度卒業時アンケート
単純集計結果

【調査の概要】

調査期間：2025 年 3 月 5 日（3 月 4 日 N サポ事前配信～回答(編集)期限 3 月末）

調査方法：対面案内・実施及びNサポで案内

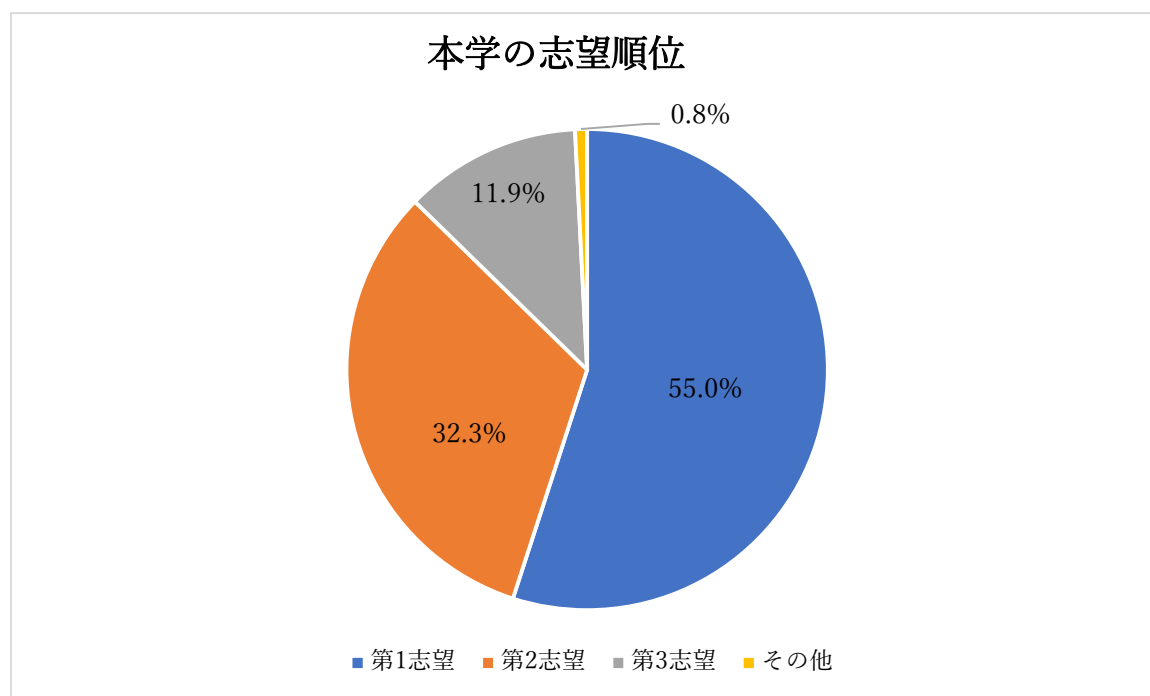
調査対象：2024 年度学部卒業生（3 月）423 名

有効回答数（回収率）：362 名（85.6%）

アンケート回答状況

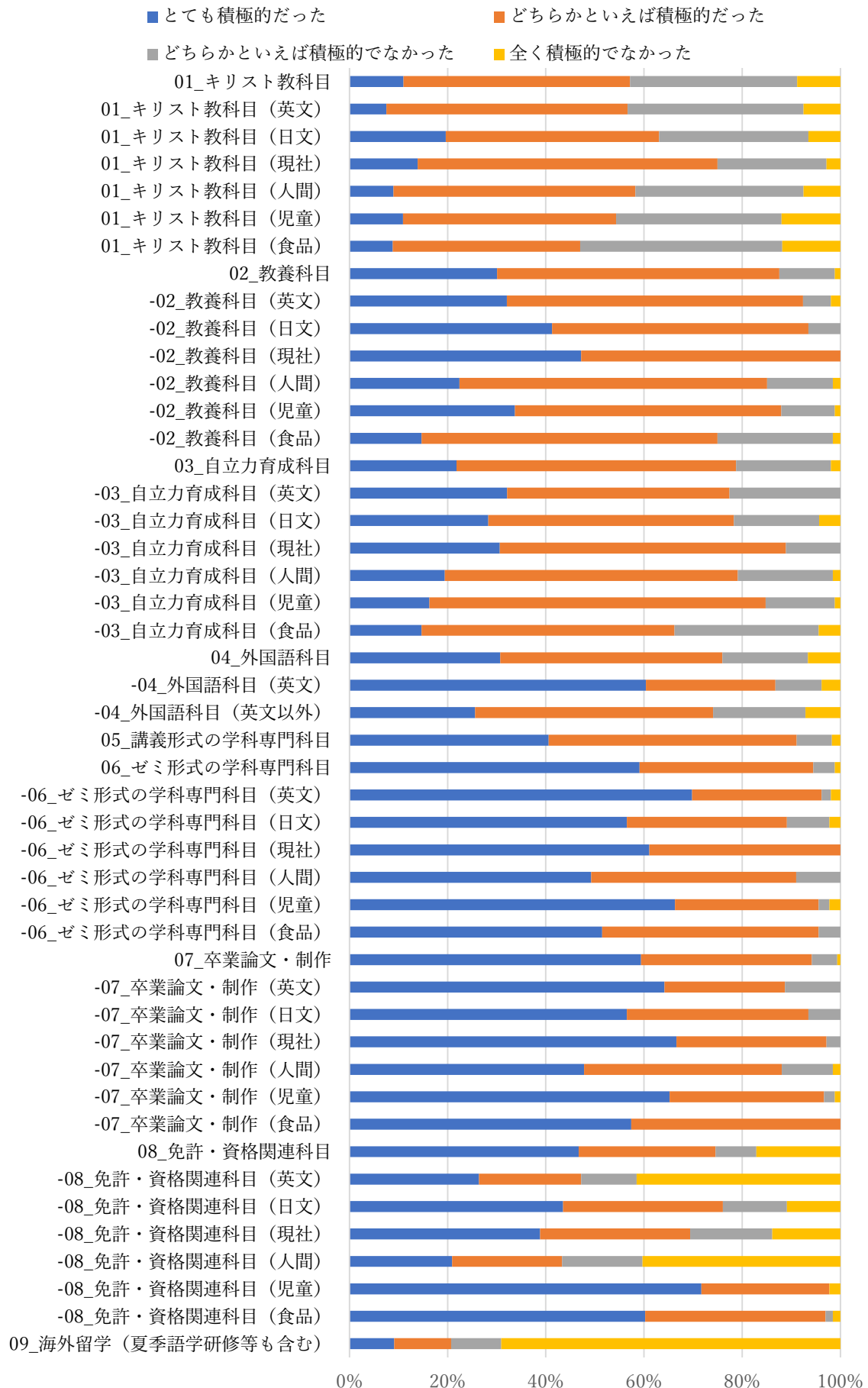
	英語英文 学科	日本語日 本文学科	現代社会 学科	人間生活 学科	児童学科	食品栄養 学科	全体
対象者数	58	52	41	78	110	84	423
回答者数	53	46	36	67	92	68	362
回答率	91.4%	88.5%	87.8%	85.9%	83.6%	81.0%	85.6%
学科比率	14.6%	12.7%	9.9%	18.5%	25.4%	18.8%	—

問1 あなたが本学に入学したときの志望度をお尋ねします。本学の志望順位を選択してください。



問2 あなたが入学してから卒業までの学習についてお尋ねします。以下に掲げる学習に、あなたはどの程度積極的に取り組みましたか。あてはまるものを選択してください。

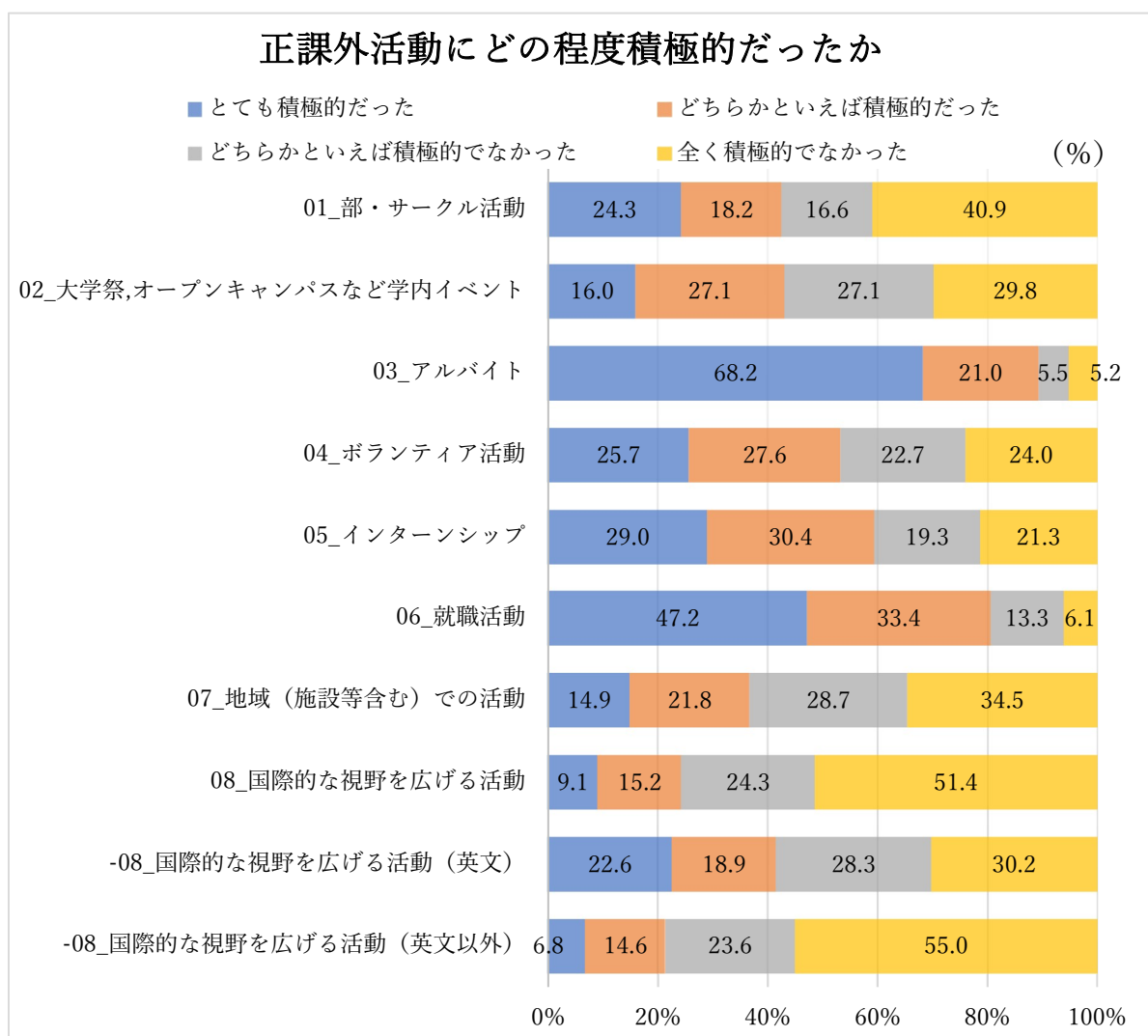
大学での学習にどの程度積極的だったか



「ゼミ形式の学科専門科目」、「卒業論文・制作」については、全学科で積極的な取り組みが見られたが、キリスト教科目を中心に、全学共通科目は相対的に消極的な姿勢であった。

また、免許・資格関連科目については、教育課程に免許・資格取得を主として備えている学科については非常に高い水準（積極的）であった。

問3 あなたが在学中に取り組んだ正課外活動（学内外問わず単位認定の対象外の活動）についてお尋ねします。以下に掲げる活動に、あなたはどの程度積極的に取り組みましたか。あてはまるものを選択してください。



入学時（2021年4月）には遠隔授業の実施が主であったが、一部受講者数を抑えながらの対面授業も再開されたこともあり、徐々にコロナ前での授業体制に戻りつつあったが、正課外活動への取組は全般的に消極的な姿勢であったため、コロナ禍以降に入学した学生（今年度卒業生～）の姿勢について注視していく必要がある。

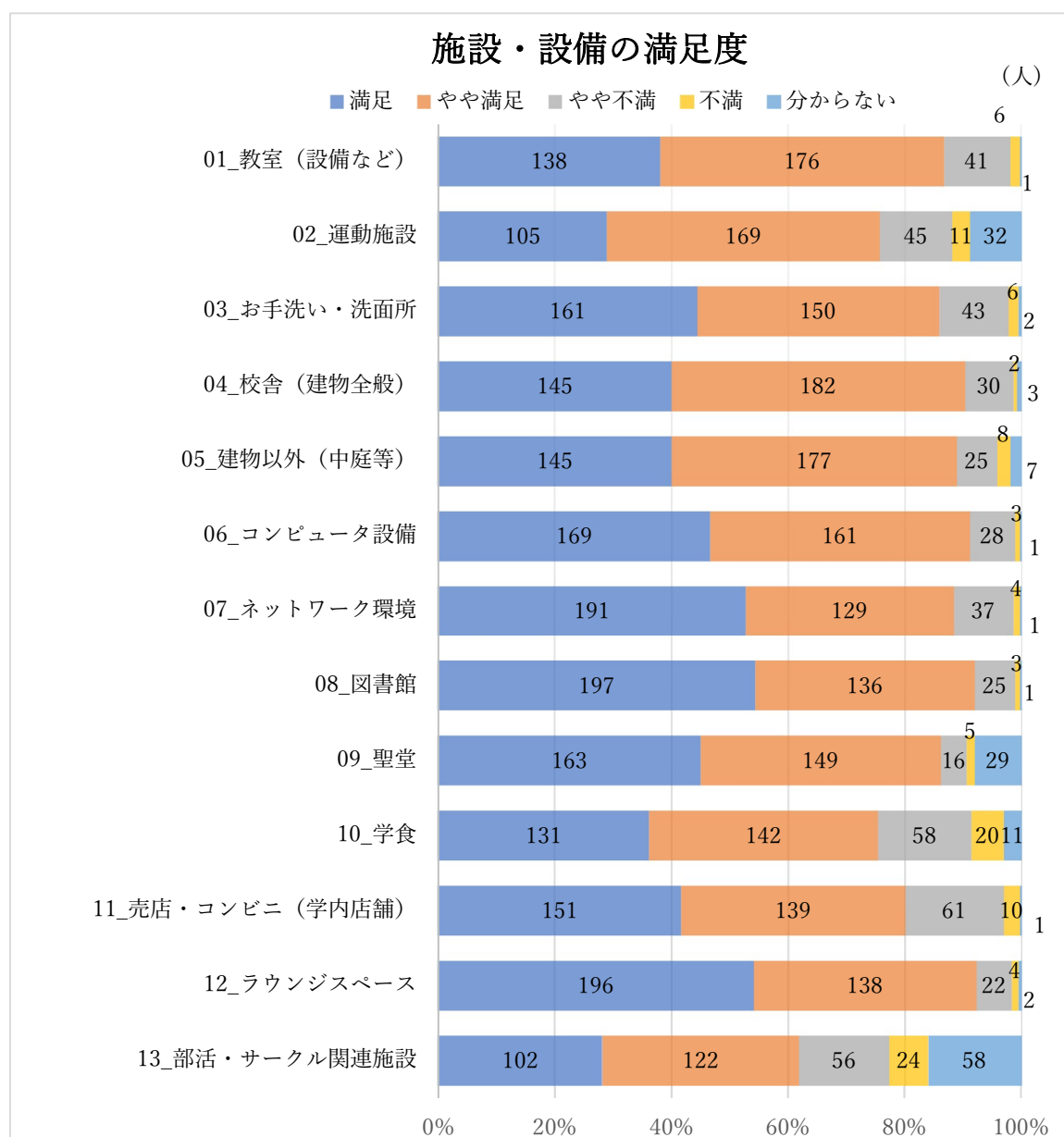
問4 大学生活でやり残したこと、もっと取り組みたかったことはありますか？

[ある]…200人(55.2%) [ない]…162人(44.8%)

[ある] の場合：複数可

- ・友人との交流…95人
- ・部・サークル…94人
- ・留学・異文化交流・語学習得…88人
- ・大学以外で過ごす自由時間（アルバイト・趣味等）…87人
- ・勉強…80人
- ・学生イベント…54人
- ・就職活動…33人
- ・ボランティア活動…29人

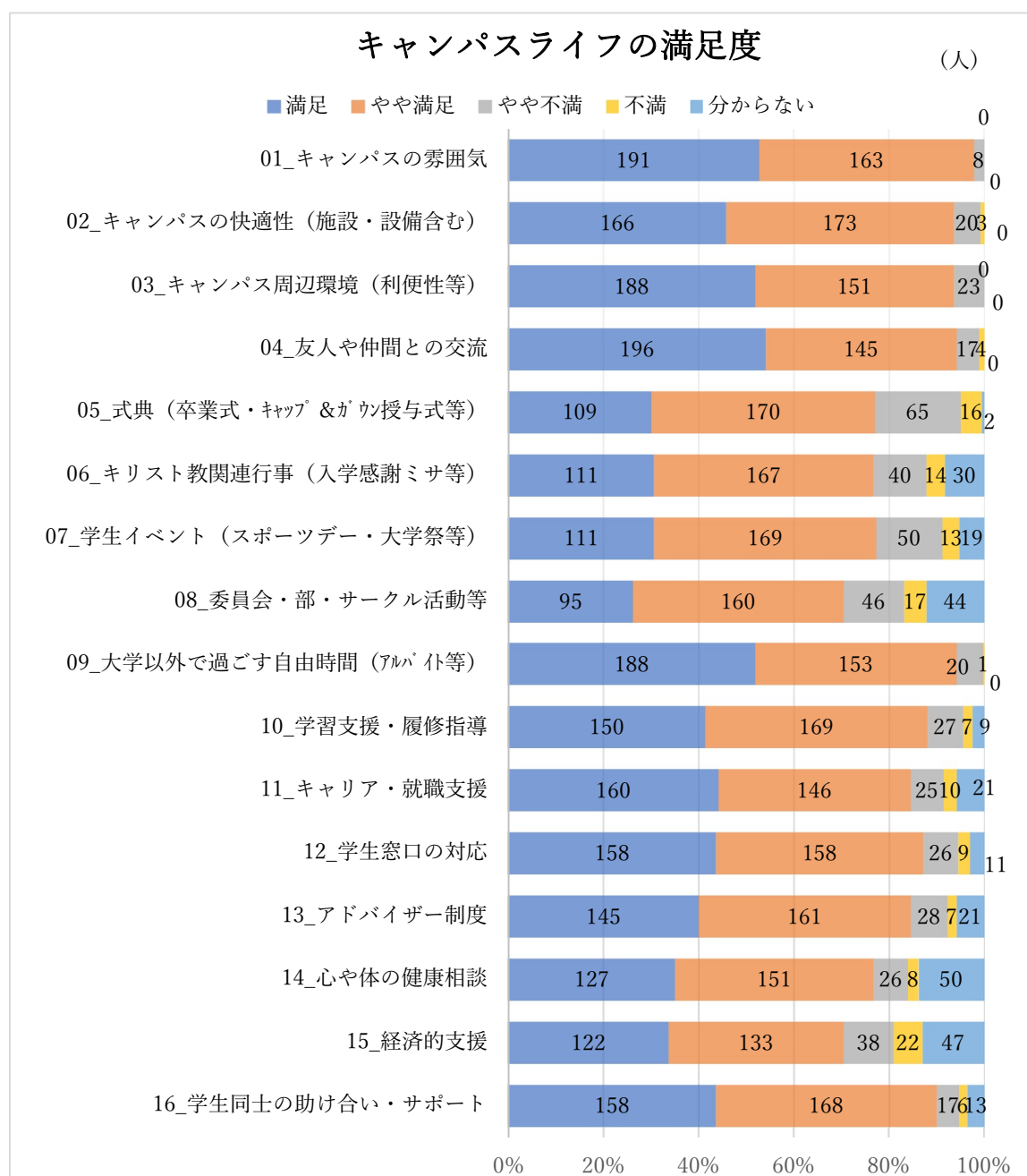
問5 施設・設備の満足度



新学棟（トリニティホール内）にコンビニ、ラウンジ、コモンスペース等が新設され、施設設備の満足度は一部項目（07_ネットワーク環境 昨年度より 1.3 ポイント減）を除き、昨年度より高くなった。

昨年度調査と比較し、顕著に高くなったものとして、「11_売店・コンビニ（学内店舗）」32.5 ポイント、「12_ラウンジスペース」16 ポイント、「01_教室（設備など）」12.2 ポイント、それぞれ増加している。

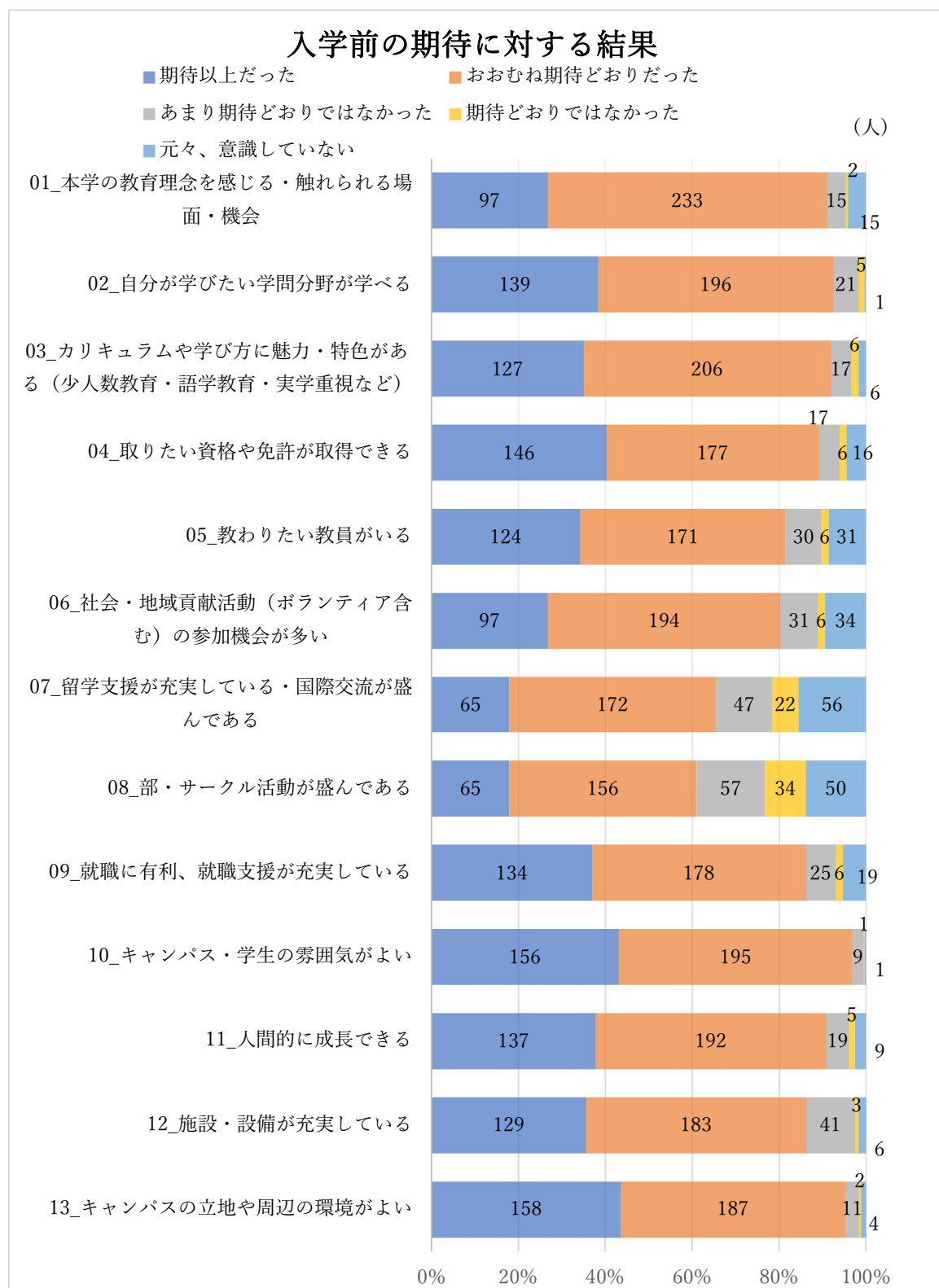
問6 キャンパスライフの満足度



「キャンパスライフの満足度」については、昨年度調査よりも全設問において高くなっている。特に満足度が高かったのは、「07_学生イベント（スポーツデー、大学祭等）」、「13_アドバイザー制度」、「08_委員会・部・サークル活動等」であった。

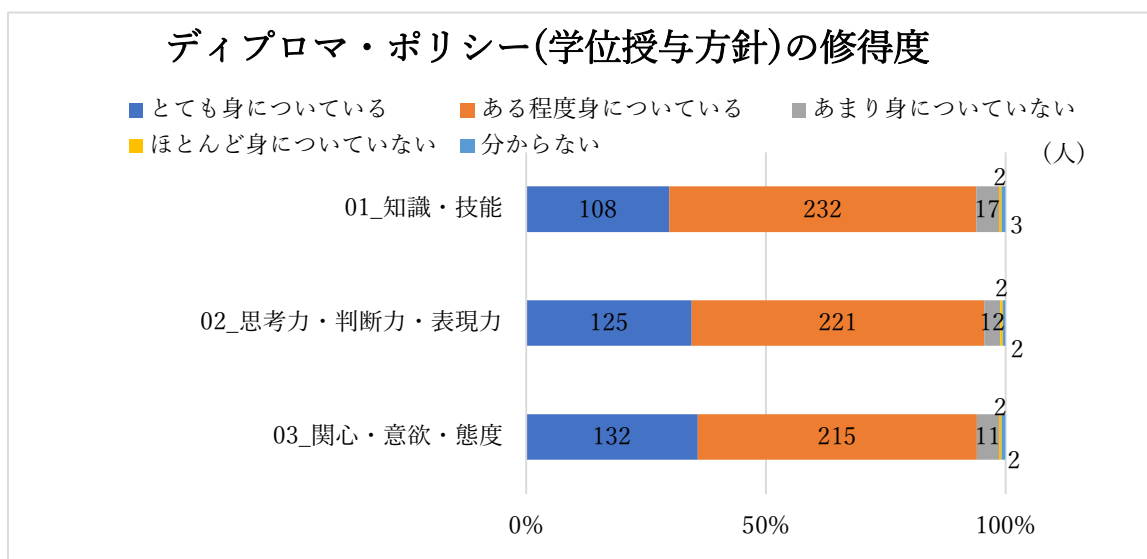
それぞれ、「07_学生イベント（スポーツデー、大学祭等）」16.6ポイント、「13_アドバイザー制度」12.3ポイント、「08_委員会・部・サークル活動等」11.9ポイント増加しており、「新型コロナウイルス感染防止対策のためのNDSU活動指針」に基づき、2022年3月頃より制限がありつつも課外活動を再開し始め、昨年度卒業生よりも満足度が高まったと考えられる。

問7 本学でのキャンパスライフを振り返ってみて、入学前にあなたが抱いていたイメージは、現在はどうのように感じられますか。



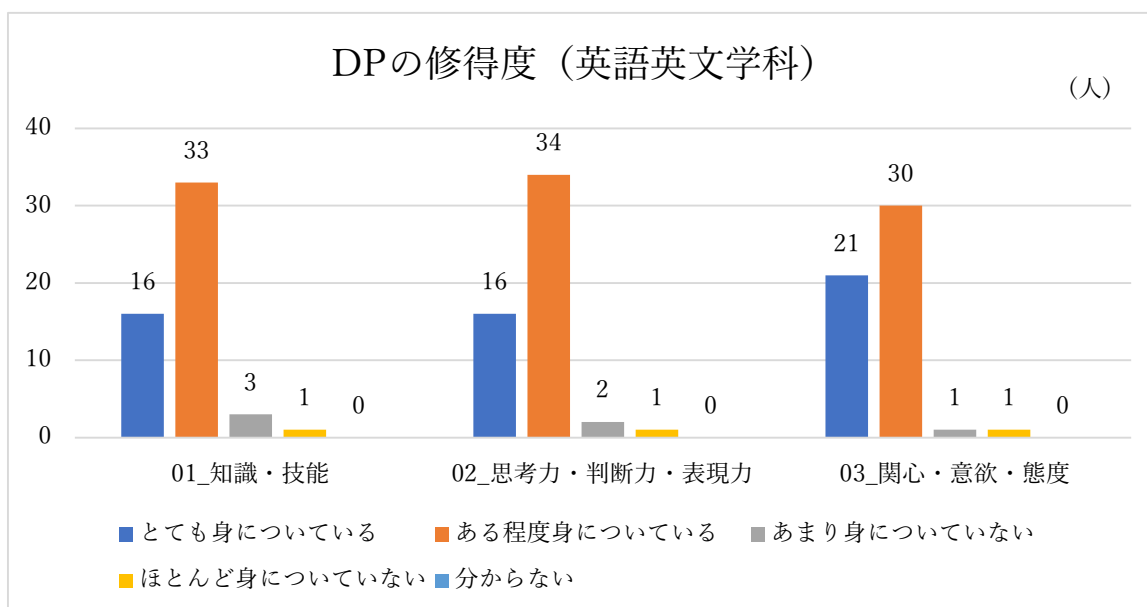
「04. 取りたい資格や免許が取得できる」「10. キャンパス・学生の雰囲気」「13. 立地や周辺環境」の評価が高い。一方で、「07. 留学支援・国際交流」「08. 部・サークル」については、低く、「12. 施設・設備」は、一定の評価を得つつも、『あまり期待どおりではなかった』も比較的多い。

問8 各学部各学科では、あなたが卒業時に身につけてほしい能力として学位授与方針（ディプロマ・ポリシー:DP）を掲げています。あなたは入学時と比較して、これらの能力がどの程度身についたと思いますか。



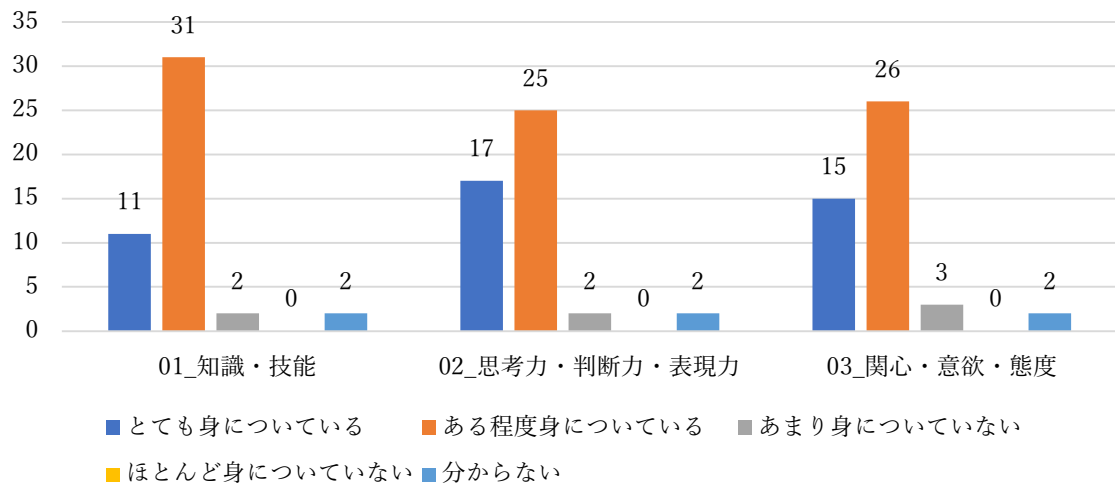
「03. 関心・意欲・態度」の修得度が高く、全体的に「ある程度身につけている」の割合が多い。学生自身が「能力が身につけている」と判断・実感する際の基準を明確にする必要がある。

(以下、学科別)



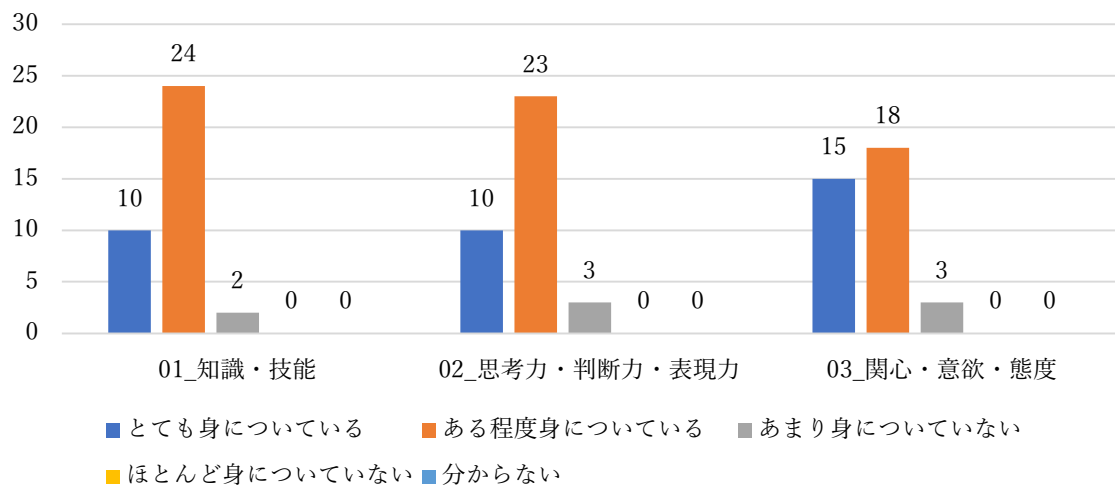
DPの修得度（日本語日本文学科）

(人)



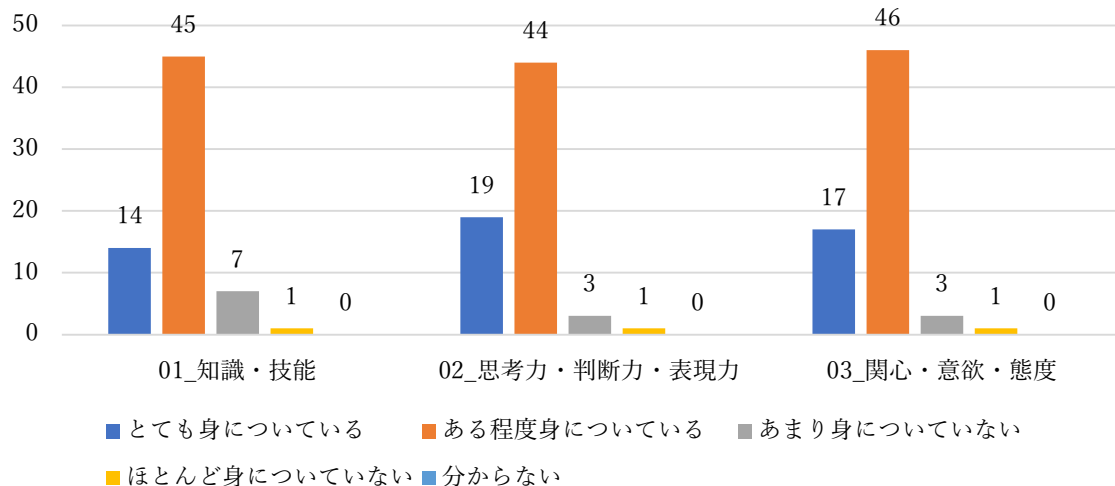
DPの修得度（現代社会学科）

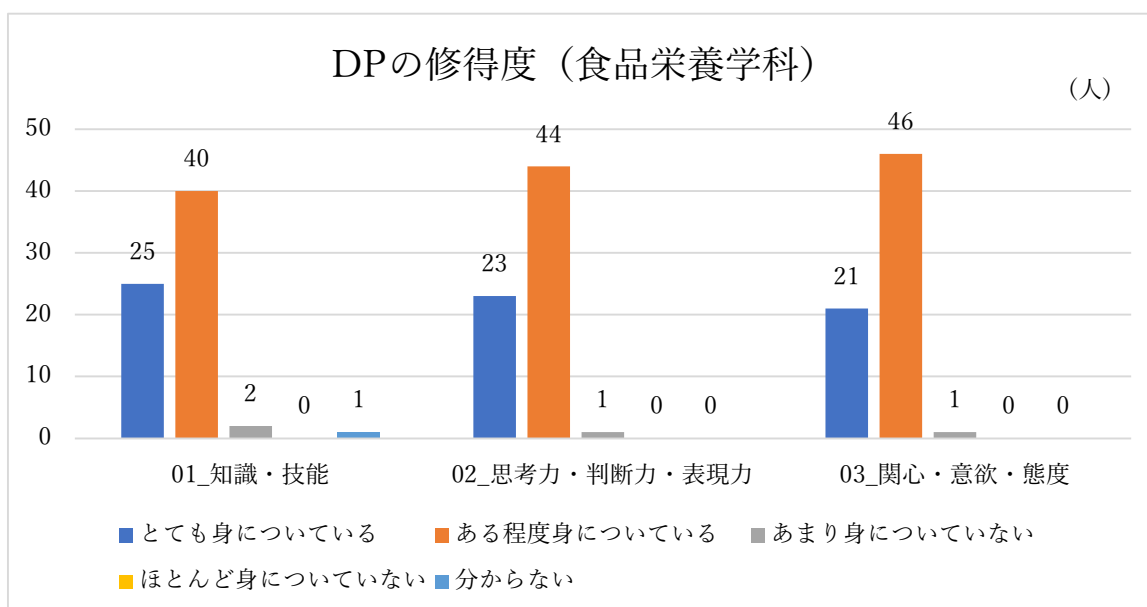
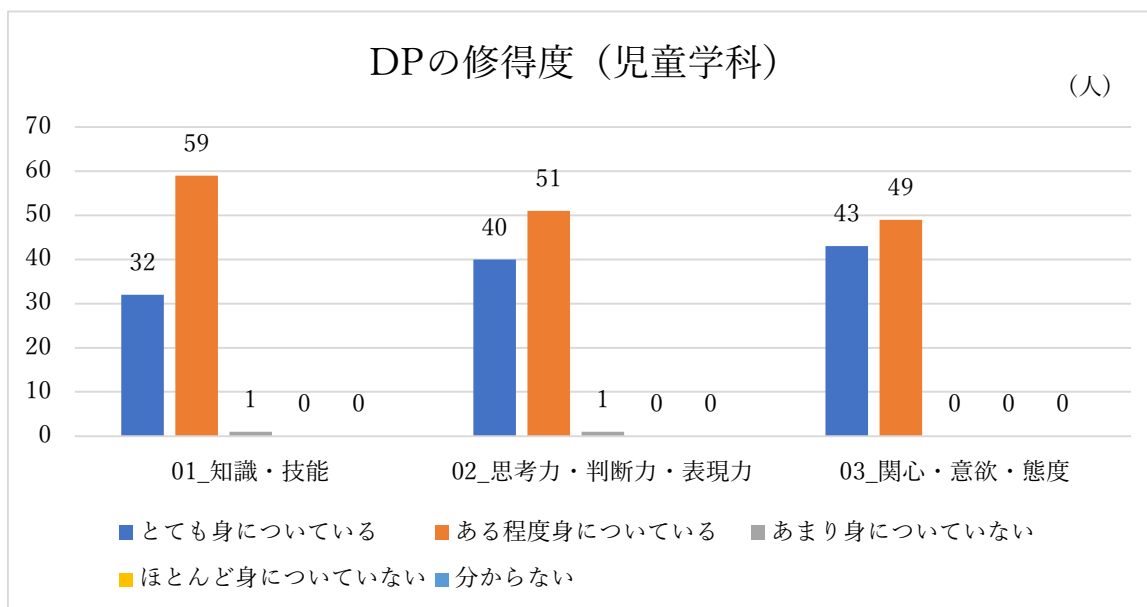
(人)



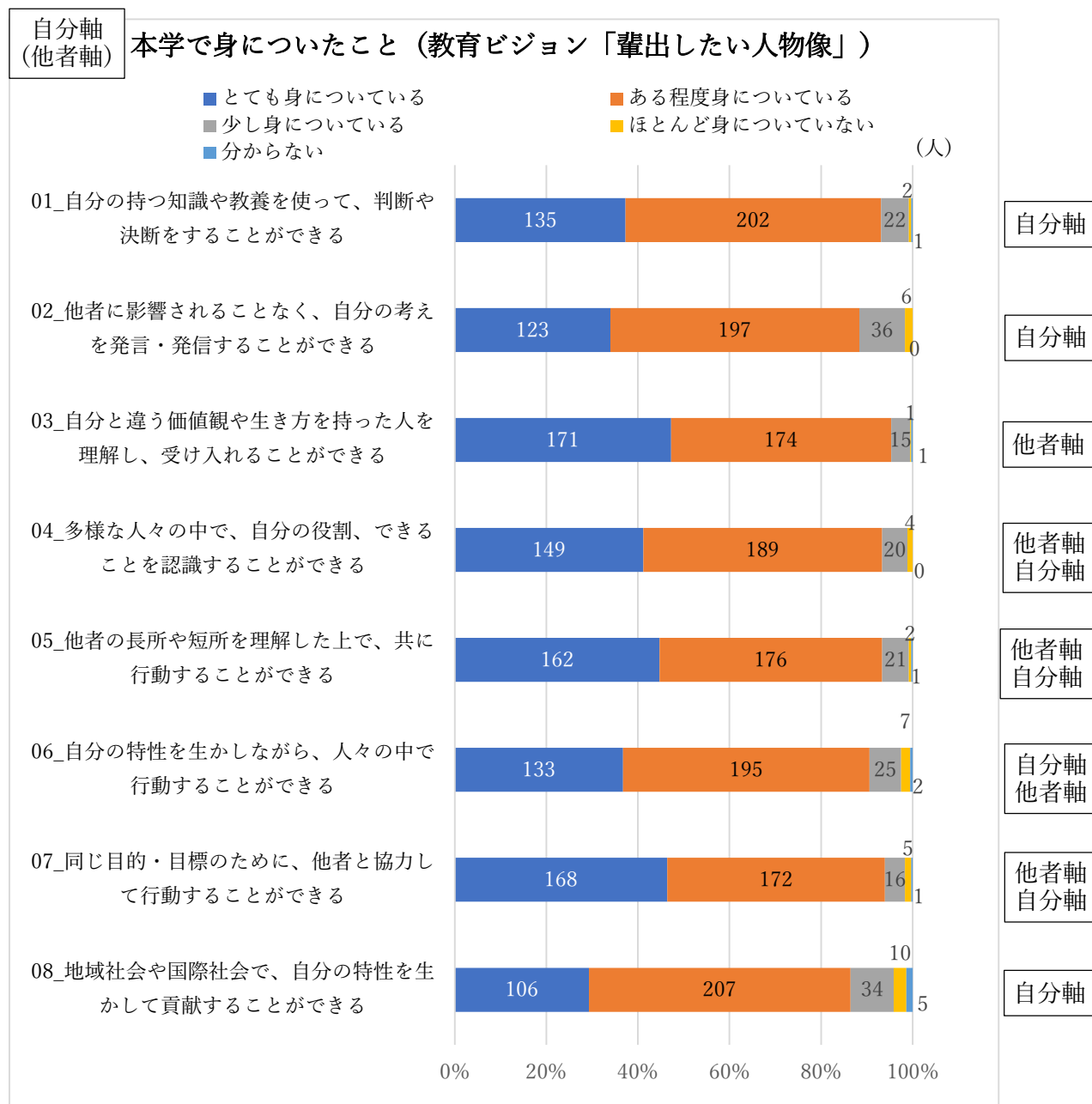
DPの修得度（人間生活学科）

(人)





問9 あなたは、本学での様々な学びをとおして、次のようなことがどの程度身についてと感じていますか。



※上記の設問は、本学のビジョン 2039-教育ビジョンに掲げる輩出したい人物像を元になっている。

(参考) Vision2039から抜粋-Vision 01 教育ビジョン

自らの生きる世界の中で、真に大切なことを見分け、愛を持って他者に寄り添い、社会に奉仕していくことのできる人格を育成する。

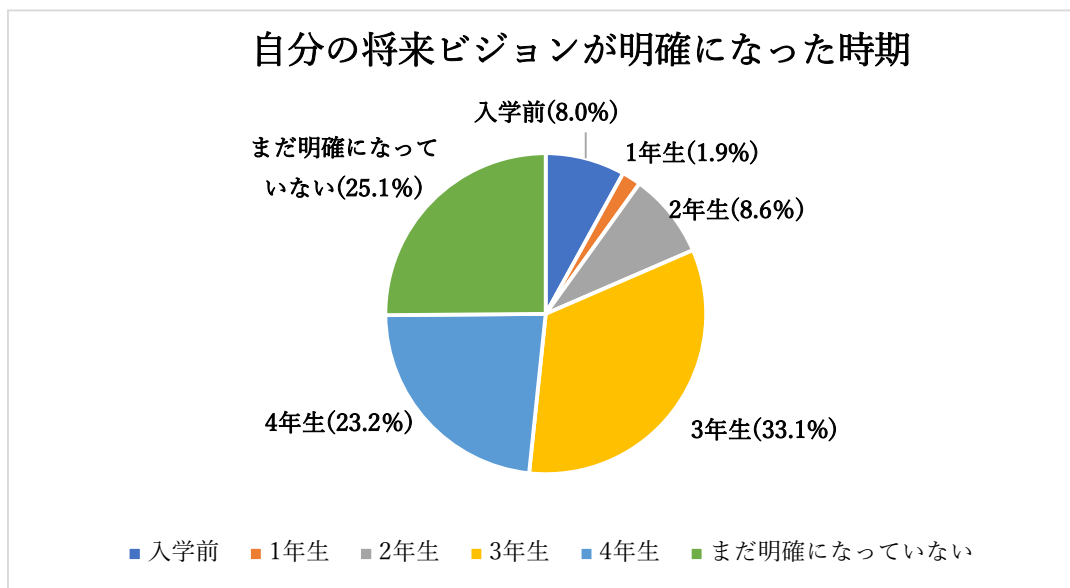
【輩出したい人物像】

世界に知的なまなざしを向けると同時に、他者との関わりを謙虚に見つめ、与えられたものの可能性を信頼しつつ自ら判断し、身近なところから他者とともに、世界を平和でよりよくすることに貢献できる女性。

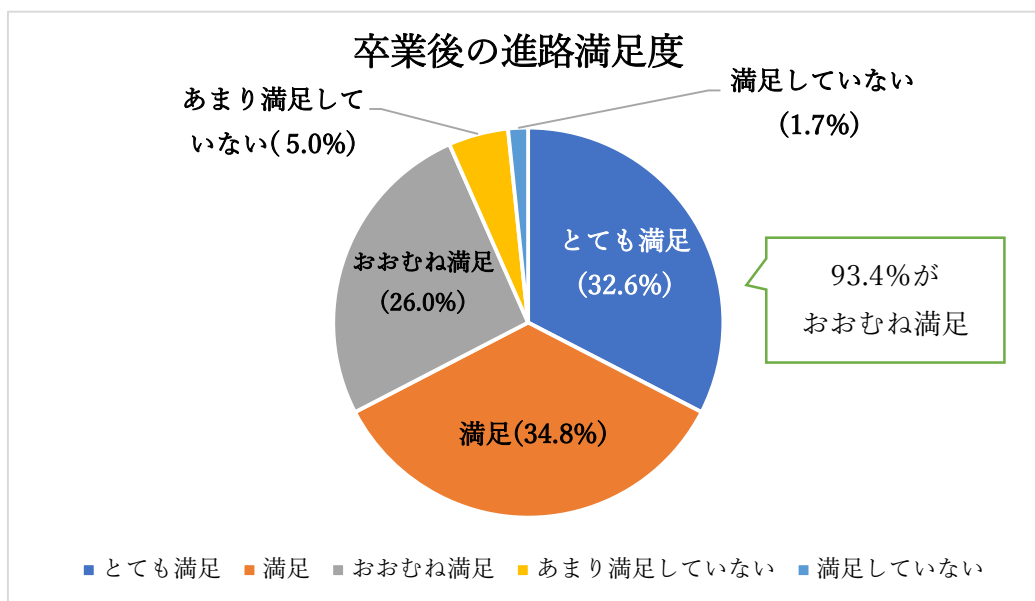
【教育の在り方】

一人ひとりの学生が大学における学びを「生きることの意義」への問いに接続し、それぞれに与えられたものの多様な可能性を発見しつつ、それを現実の社会の中で具体的な「生き方」に結び付けられるように支え続ける、真のリベラルアーツ教育を提供する。

問 10 卒業後の進路や「何歳までにこれを達成したい」など、自分の将来についてのビジョンが明確になった時期はいつごろでしたか。



問 11 卒業後の進路について現時点の気持ちをお尋ねします。



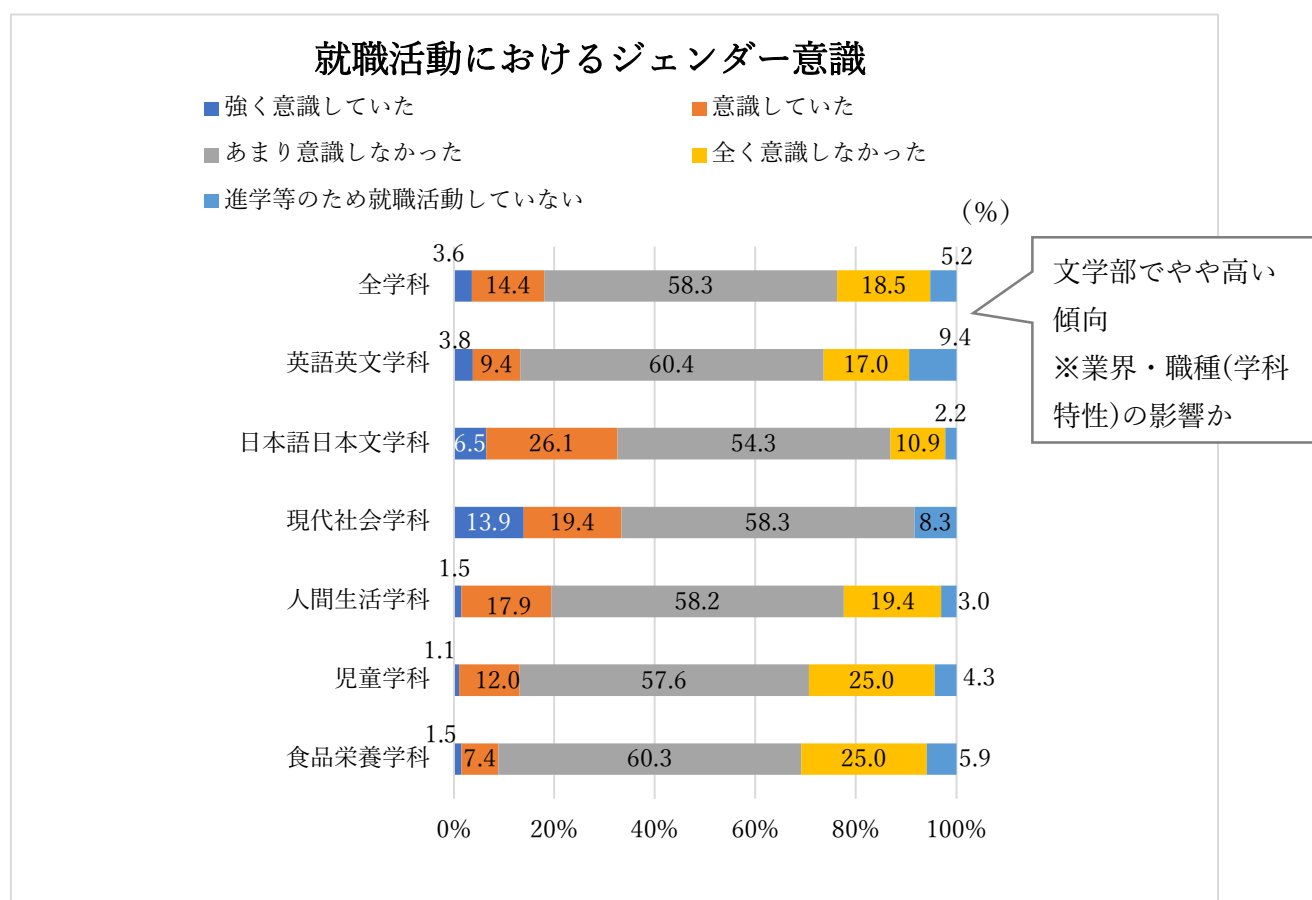
問 12 大学卒業後の進路や将来のことを決めるにあたり、授業や課外活動など大学生活の学びや活動の中できっかけになったものはありますか。具体的に教えてください。

有効回答数 (97 人)

- ・教育実習 (英語英文学科) : 2
- ・教育実習・保育実習 (児童学科) : 7
- ・資格取得の実習等 (現代社会学科) : 1
- ・教育実習・実習 (人間生活学科) : 4
- ・臨地実習 (食品栄養学科) : 9
- ・授業 : 6
- ・ゼミ活動・卒論 : 13
- ・周りの人 : 9 (先生 3 / 先輩 4 / 友人 1 / アルバイト 1)
- ・アルバイト : 5
- ・ボランティア : 8
- ・キャリアサポートセンターでの相談 : 6
- ・インターンシップ : 4
- ・就職活動・就活イベント・説明会・外部のキャリア支援プログラム : 10
- ・課外活動 (施設見学、ツボジョワールド、フィールドワーク等) : 6
- ・キャンパスナビゲータの活動 : 2
- ・模擬国連 : 2
- ・留学 : 3
- ・サークル・部活動 : 2
- ・オリエンテーション協力学生 : 1
- ・TOEIC : 1
- ・研究 : 1
- ・図書館 : 1
- ・学科 : 1
- ・オリエンテーション : 1
- ・学部・大学院 5 年生修士プログラム : 1
- ・日本語教員養成課程 : 1
- ・同窓会主催公務員講座 : 1

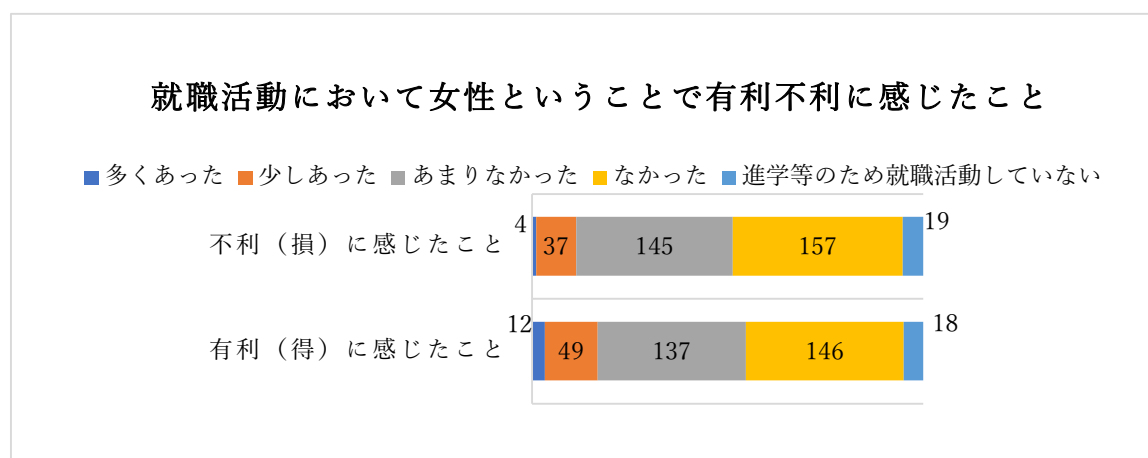
問 13 就職活動におけるジェンダーギャップについてお尋ねします。

13-1 就職活動において、ジェンダーについて意識することはありましたか。

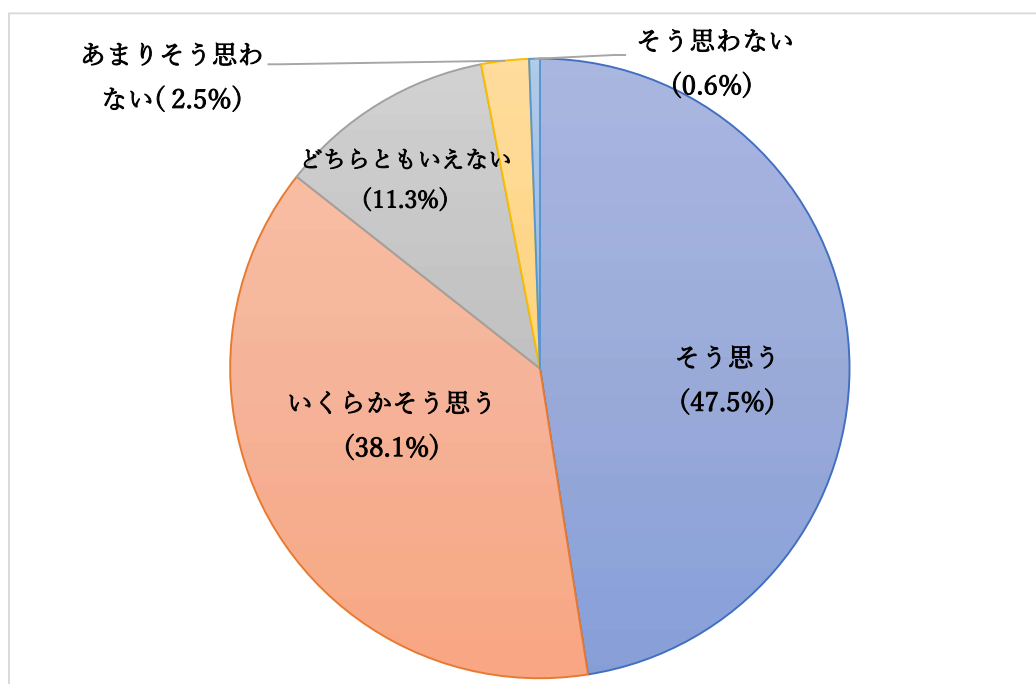


13-2 就職活動において、女性ということで有利不利に感じることはありましたか。

※有効回答 362



問 16 あなたの身近に大学進学希望者がいた場合、本学を勧めたいと思いますか。



問 18 本学に対するあなたの考えについてお尋ねします。

